平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅣ (Seminar Ⅳ)【徂徠ゼミ】			授業コード	E002702
担当教員名	徂徠 三十六			科目ナンバリングコード	E41204
配当学年	4	開講期	前期		
必修・選択区分	必修	単位数	4		
履修上の注意または履修条件	ゼミナール募集の手続きに沿って志望すること。				
受講心得	大学での学修の集大成として研究をすすめ、内容が濃く、完成度の高い論文を仕上げるよう、努力して下さい。またその内容をうまくプレゼンテーションするよう、心がけて下さい。				
教科書	ゼミのなかで指示します				
参考文献及び指定図書	川上 元郎、小松 原仁「新版 色の常識 第2版」(日本規格協会) 越智 宏、黒田 英夫「図解でわかる画像圧縮技術」(日本実業出版社) 大村平「確率のはなし」(日科技連) 徂徠三十六ほか「生産情報システムの基礎」(泉文堂) 鳥脇純一郎「情報数学」(オーム社) これ以外は必要に応じてゼミのなかで指示します。				
関連科目	情報リテラシー1、情報リテラシー2、統計学				

授業の目的	情報処理の場面における人間と情報機器(コンピュータなど)とのインターフェースを考えます。その際の人間の感覚・知覚特性, さらに進めて認知特性がどのようなものであるかを解明するのが, 当ゼミの最終目的です。(ただし心理学的過程の解明までは及びません) そうしてその集大成として「卒業論文」を作成します。 また、その研究結果を発表会にて発表します。
授業の概要	内容が濃く、完成度の高い「卒業論文」を作成する。 研究結果を、1.ゼミの発表会、2.学部の発表会、3.大学全体の発表会、4.福岡の学会学生発表会にて発表する。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : ガイダンス、研究テーマの紹介 所属するゼミでこれから卒業研究として取り組んでいく内容について話し合います。	3年次1月に配布した「卒業研究日程表」の日程に従い、「卒業研究遂行マニュアル」に沿って、4時間の活動を実施。
第 2 週 : 研究テーマの選定 各自の具体的な取り組みについて考え、選定します。	3年次1月に配布した「卒業研究日程表」の日程に従い、「卒業研究遂行マニュアル」に沿って、4時間の活動を実施。
第 3 週 : 先行研究の調査 それぞれの分野におけるこれまでの著書、論文等報告、インターネット上の公開等について調査します。	3年次1月に配布した「卒業研究日程表」の日程に従い、「卒業研究遂行マニュアル」に沿って、4時間の活動を実施。
第 4 週 : 研究対象の選定 研究テーマに沿って、具体的にどの範囲の何について研究するのかを決めます。	3年次1月に配布した「卒業研究日程表」の日程に従い、「卒業研究遂行マニュアル」に沿って、4時間の活動を実施。

第 5 週 ： 研究方法の決定 究方法の決定 研究対象をどのような方法で調査分析していくのかを立案します。	3年次1月に配布した「卒業研究日程表」の日程に従い、「卒業研究遂行マニュアル」に沿って、4時間の活動を実施。
第 6 週 ： 予備調査 本調査の前に、事前の予備調査をします。	3年次1月に配布した「卒業研究日程表」の日程に従い、「卒業研究遂行マニュアル」に沿って、4時間の活動を実施。
第 7 週 ： プレ調査結果の分析 調査結果をとりまとめ、分析します。	3年次1月に配布した「卒業研究日程表」の日程に従い、「卒業研究遂行マニュアル」に沿って、4時間の活動を実施。
第 8 週 ： 本調査の準備 予備調査を発展させた本調査のための準備をします。	3年次1月に配布した「卒業研究日程表」の日程に従い、「卒業研究遂行マニュアル」に沿って、4時間の活動を実施。
第 9 週 ： 本調査 本調査を実施します。	3年次1月に配布した「卒業研究日程表」の日程に従い、「卒業研究遂行マニュアル」に沿って、4時間の活動を実施。
第10週： 調査結果の分析 調査結果を取りまとめ、分析します。	3年次1月に配布した「卒業研究日程表」の日程に従い、「卒業研究遂行マニュアル」に沿って、4時間の活動を実施。
第11週： 調査結果の考察 分析結果について考察します。	3年次1月に配布した「卒業研究日程表」の日程に従い、「卒業研究遂行マニュアル」に沿って、4時間の活動を実施。
第12週： 論文の執筆 これまでの研究成果をまとめるため、本文を執筆します。	3年次1月に配布した「卒業研究日程表」の日程に従い、「卒業研究遂行マニュアル」に沿って、4時間の活動を実施。
第13週： 発表会の練習 パワーポイント等を作成し、発表の練習をします	3年次1月に配布した「卒業研究日程表」の日程に従い、「卒業研究遂行マニュアル」に沿って、4時間の活動を実施。
第14週： 発表会 これまでの研究成果を発表します。	3年次1月に配布した「卒業研究日程表」の日程に従い、「卒業研究遂行マニュアル」に沿って、4時間の活動を実施。
第15週： 反省・将来の展望	

1年間の取り組みを総括し、今後の課題と問題点を明らかにし、後輩へ引き継ぎます。	3年次1月に配布した「卒業研究日程表」の日程に従い、「卒業研究遂行マニュアル」に沿って、4時間の活動を実施。
第16週：	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	「生涯にわたって自発的に学習する能力」を身につけることが 経営経済学科ディプロマ・ポリシーにうたわれているが 3年間の「ゼミナール」全体をつうじて、 自主的積極的に問題解決に取り組む姿勢を育みます。
【知識・理解】	「ビジネスソリューション分野における専門的・実践的知識を習得し、 それらを総合・活用し課題解決を図るリテラシー」を身につけることが 経営経済学科ディプロマ・ポリシーにうたわれているが 3年間の「ゼミナール」全体をつうじて、 最終的に「卒業研究」をまとめ上げるために必要な各種知識を身につけていきます。
【技能・表現・コミュニケーション】	「適切な表現力やプレゼンテーション能力を習得」することが 経営経済学科ディプロマ・ポリシーにうたわれているが 3年間の「ゼミナール」全体をつうじて、 卒業研究内容をわかりやすく説明する技術を習得していきます。
【思考・判断・創造】	「社会的事象について、多角的に考察・分析し」たり、 「課題を解決することができ」る能力を備える、ということが 経営経済学科ディプロマ・ポリシーにうたわれているが、 3年間の「ゼミナール」全体をつうじて、 数理的・論理的思考力を身につけ、 それによる問題解決能力を備えらるように成長していきます。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		25点		
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		25点		
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		25点		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		25点		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	「卒業論文」およびその発表 論文の評価は各回の発表会のなかで講評していきます。
発表・その他（無形成果）	